

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.38(2025. 8 月)

社会科同好会編②「日韓ピースキャンプ 光州・木浦」

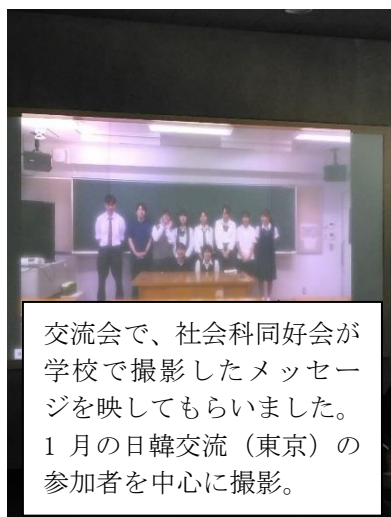
2025年7月28日(月)～8月1日(金)、日韓ピースキャンプ(記憶と平和のための1923歴史館／秩父ユネスコ協会主催)に生徒2名＋社会科教員3名で参加し、光州と木浦を訪れました。韓国現代史の中の国家暴力の歴史を理解し、さらに人権と民主主義の重要性を共に学ぶことが今回の目的です。



韓国での交流会で上演するための朗読劇を埼玉の高校生、大学生の参加者とともに練習。事前学習として光州事件を描いた映画『タクシードライバー』を見ました。



1980年5月、民主化運動が弾圧された「光州事件」では、民間人を守るはずの軍が民衆を殺傷しました。以来、韓国、特に光州にとって、「5月」は特別な月。2024年、国立の国家暴力によるトラウマセンターが作られたそうです。「国家が被害者を支援するのは、加害があった事実を認めていることを意味するので重要だ」と、民主化運動参加者の方がおっしゃっていました。韓国の高校生は「歴史を忘れた民族に未来はない」と言っていました。



7月31日に天安市へ。「1923歴史館」を見学、交流しました。関東大震災で発生した朝鮮人虐殺に関する資料が展示されています。

